

2010年 4月 22日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 生態工房

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

登録型市民参加プログラムによる環境保全事業実施体制の構築

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

▼市民活動として環境保全を継続するには、受託や助成に依存し過ぎず、どのようにして市民からの直接的支援を獲得するかが課題になります。意義のある活動には資金や労力を提供してもよいと思っている市民は意外と多くおり、その思いを上手に汲み取ることができれば保全活動を前進させることができる考えられます。

▼わたしたちの会は shirjo プロジェクトによる支援を受けて、環境保全活動に関心を持つ市民を対象とした「登録型保全活動プログラム」をスタートさせました。これにより、市民から活動資金と労力を獲得しながら、継続的・発展的に保全活動を進める体制を構築します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

▼登録型の保全活動プログラム「エコモニ 生態工房生きものモニタリング」を立ち上げました。このプログラムに申し込んだ市民に、当会が実施している野生生物の調査などの野外活動に参加していただきます。参加者は当会の専門スタッフとともに活動して問題に対する理解を深め、継続的な参加によってスキルを磨きながら、保全活動を進める人材へと成長していきます。

▼本年度は、井の頭恩賜公園でのカメ類生息調査を中心に、石神井公園、光が丘公園(練馬区)、葛西臨海公園(江戸川区)において毎月1回以上開催しました。特に、知名度が高く普及啓発効果が見込まれる井の頭恩賜公園での活動に力を入れ、活動結果を「井の頭池カメ新聞」として発行しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

▼参加者は、年会費と野外活動への参加によって、保全活動に資金面・労力面で貢献します。自然に関する活動においては、参加者は自身が野外で直接的な活動をする事への興味が強く、組織運営への参加や貢献にはつながりにくい傾向があります。本プロジェクトでは、参加＝入会となる仕組みなので、組織が活動を継続していくための運営資金を獲得することになります。本年度のエコモニによる入会者数は●人で、エコモニ非参加の新入会者(いわゆる普通の入会者)●人を上回りました。

▼登録は1年間有効なので、関心のある人は何回でも参加するリピーターになります。リピーターは次年度への会員継続率が高くなると期待されます。今後はリピーターが継続的な参加や新規参加者への指導を通じて自己の技術や意識を高め、保全活動の拡大や水準向上に寄与していくことが期待されます。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

▼これまでの活動では、野外活動を中心とした環境保全事業と、会員獲得などの組織運営・基盤整備活動とが別々に計画されており、後者が後回しになる傾向がありました。本プロジェクトにより、入会のための入会勧誘や、イベントのための野外活動ではなく、「保全活動に参加するための入会」というスタイルが確立され、事業の推進と支援者拡大とが効果的につながりました。

▼本年度の入会者数は、これまでの成長率からすれば大きく伸びましたが、活動に必要な資金や労力を考えると、さらに多くの支援者が必要です。本年度の参加履歴を分析して、より参加者を獲得しやすいプログラムや広報手段を開発し、新年度の成長へとつなげていきます。

6. 参考資料

活動写真



カメ類生息状況調査 (捕獲の様子)



カメ類生息状況調査(カメ類の計測)



樹洞性鳥類の巣箱製作



樹洞性鳥類の巣箱設置



シギ・チドリ類の生息環境整備 (除草)



シギ・チドリ類の生息環境整備 (運び出し)



外来樹種の駆除 (巻き枯らし)



樹林の改善 (ササ刈り)